

がまき 議会だより

第97号

平成28年8月1日号



ここでどんなお話をしているの！？
(上牧小学校3年生)

TOPICS

新議会構成	2
5月臨時会・6月定例会	3～5
議決結果	5
一般質問	6～11
議会・インターネット中継	12

平成28年度 新しい議会構成決まる



議 長
吉 中 隆 昭



副 議 長
石 丸 典 子

議長・副議長あいさつ

私たちは、5月臨時会におきまして、議員各位の推薦によって議長・副議長に就任いたしました。これまでの民主的な議会運営を継続させ、より開かれた議会にするため力を尽くす決意です。

さて、町議会は、町政に関する情報を皆さんと共有し、町民の代表として意思決定を行う機関です。議会のあり方を定めた「議会基本条例」を制定して3年がたちました。これまで、議会広報の工夫や皆様のご意見をお聞きする議会報告会を開催いたしました。

今後も、行政のチェック機能を十分に果たすとともに、子育て支援や高齢者支援策が大いに進み、町がさらに活性化するよう、議員自ら研究を深めてまいります。

1年間どうぞよろしくお願いいたします。

議会選出監査委員 堀内英樹

議会運営委員会

- 委員長 東 充洋
- 副委員長 遠山健太郎
- 委員 竹之内 剛
- 委員 富木つや子
- 委員 堀内 英樹
- 委員 康村 昌史

総務建設委員会

- 委員長 堀内 英樹
- 副委員長 富木つや子
- 委員 牧浦 秀俊
- 委員 辻 誠一
- 委員 東 充洋
- 委員 吉中 隆昭

文教厚生委員会

- 委員長 康村 昌史
- 副委員長 竹之内 剛
- 委員 石丸 典子
- 委員 遠山健太郎
- 委員 長岡 照美
- 委員 服部 公英

財政問題特別委員会

- 委員長 辻 誠一
- 副委員長 牧浦 秀俊

- 委員 遠山健太郎
- 委員 長岡 照美
- 委員 服部 公英
- 委員 東 充洋

ごみ処理問題特別委員会

- 委員長 堀内 英樹
- 副委員長 石丸 典子
- 委員 竹之内 剛
- 委員 辻 誠一
- 委員 富木つや子
- 委員 服部 公英
- 委員 康村 昌史

広報委員会

- 委員長 辻 誠一
- 副委員長 牧浦 秀俊
- 委員 石丸 典子
- 委員 竹之内 剛
- 委員 遠山健太郎
- 委員 長岡 照美
- 委員 堀内 英樹

議会―IT会議

- 委員 東 充洋
- 委員 サキヤブデン 富木つや子
- 委員 竹之内 剛
- 委員 遠山健太郎
- 委員 服部 公英
- 委員 康村 昌史

総務建設委員長報告

■平成28年度一般会計補正予算
(第1回)

5,700万6千円を増額

(歳入)

○ 未熟児医療費等負担金の増額
計上について説明を求めぬ。

○ 未熟児養育医療費の対象者は、保護者からの申請により、出生時1,500g以下の幼児で、

医師が入院、養育が必要と認めたものであるが、今回長期入院(3カ月)2件の申請があり、個人負担分を引いた残額について、国が1/2を、県が1/4を助成するものである。

(歳出)

○ コンビニ交付システム導入業務委託料2,819万4千円について、マイナンバー制度の導入に伴いコンビニで証明書の交付が出来るようになるが、交付対象となる証明書、必要な手続き、交付システムの内容や導入スケジュール

等について説明を求めぬ。

○ コンビニ交付システムは、マイナンバーカードを利用し、コンビニの端末で住民票と印鑑証明書が交付できるようになる。必要な手続きとして、交付するためには個人番号カードを取得する必要がある。来年4月1日から開始する。

○ 自治会長謝礼7万5千円増額計上について

○ 4月1日にささゆり台自治会が結成されたことで増額計上。

○ LED防犯灯推進事業補助金800万円増額の根拠について説明を求めぬ。

○ 防犯灯LED化に対して一灯あたり設置費用の2分の1で限度額1万円以内を補助する事業、26年度から32年度まで実施。

○ 今回は、総数を把握するためにLED設置のアンケートを自治会に行った。結果として17自治会で

1,606本という回答があり、それをもとに算出した。

○ 学童保育指導員委託料45万3千円の増額計上について、説明を求めぬ。

○ 指導員を募集しているが、あまり応募がない。土曜日の長時間が問題で9時間半の勤務になり、シルバー人材センターに、その長時間分を依頼するものである。

○ 第一保育所の空調機設置工事費682万9千円について当初予算に続き計上された。小さい子どもが過ごす施設であり、先のことも見据えた最善の判断が必要であったと思うのだが。

○ 空調機の状態を注意深く点検し、今後は慎重に予算を作成していきたい。また、工事の日程についても、子どもの安全面を最優先に考えて進めていく。

○ 地籍調査委託料81万9千円増額計上について説明を求めぬ。

○ 積算基準の改正があり歩掛かりや単価の改正によるもの。

○ 町営第1住宅除却工事150万円の増額計上について説明を求めぬ。

○ 3月23日に申し出があり当初予算には計上できなかった。

○ 臨時教員等賃金360万7千円の計上について説明を求めぬ。

○ 第2小学校の先生1名がペガサス教室を担当することになった賃金と、町立幼稚園教員が産休に入るための臨時教員の賃金である。

以上 全議案について採決の結果、全委員異議なく可決されました。



文教厚生委員長報告

■上牧町立幼稚園保育料徴収条例の一部改正する条例

問 町立幼稚園保育料の新たな軽減内容について。

答 所得割課税額7万7,100円以下の世帯は、最年長の子どもの年齢にかかわらず、3人目以降は無料となる。ひとり親世帯等は、保育料を減額する。多子世帯で所得課税額が7万7,100円以下の世帯は、上の子どもが大学生でも、同居・別居に関わらず、生計を一にしていることが条件である。

問 この条例改正をパブリックコメントに付さなかった理由は何か。

答 上牧町パブリックコメント手続きに関する要綱第3条に規定する対象条例ではないと判断したためである。

問 パブリックコメントは住民に対する周知に有意義な手続きであ

り、同実施要綱第4条に、対象条例でなくてもパブリックコメント手続きを実施できると規定されており、今後の改正については常に「このパブリックコメントに付すべきではないか」というアンテナを立てて対応いただきたい。

答 今後実施できるところは実施していきたい。

問 多子世帯の保育料負担軽減について、国の政策である年齢制限の撤廃だけでなく、上牧町独自の政策として「所得制限の撤廃」を検討し、人口ビジョンに総合戦略での政策という意味でも少子化対策の一助として必要と考えるがどうか。

答 まずは、財政を見ながら、そして今後の状況を勘案しながら、今の提案も含めて計画的に対応したい。

■平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1回)

介護施設開設準備経費等の事業補助金として、1千30万円を一般会計から繰り入れが行なわれた。

■次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

主な内容は、高齢者の自立を支援したり、介護の重度化を予防するには軽度者への福祉用具の貸与や住宅改修のサービスと共に一体的な介護保険サービスが必要であると、長岡議員より1名の賛成議員と共に提案がありました。

以上 3議案について慎重審議し、全議案異議なく可決しました。

委員会付託しなかつた議案

■上牧町国民健康保険税条例の一部改正(専決処分)

地方税法の一部改正に伴い課税限度額を引き上げます。医療費分54万円(現行52万円)に、後期

高齢者支援金分19万円(現行17万円)になります。保険税軽減では5割軽減26万5千円(現行26万円)に、2割軽減48万円(現行47万円)になります。

■特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

元環境部理事の不祥事に関し、町長の監督責任を問うため、7・8月分の給与月額5%を減額します。



再発防止を求める決議

今般、上牧町の公金取扱い並びに会計処理に関し、元幹部職員による不適切な事案が発覚した。このことは、執行機関に対する監視機能を担う本議会としても極めて遺憾な事態である。

よって、上牧町において、こうした事案が断じて再発することが無いように、直ちに万全の対策を講じるとともに具体的な対策をとりまとめ、議会に報告することを強く求めるものである。

平成 28 年 6 月 15 日

上牧町議会

■再発防止を求める決議について
 今年4月に発覚した元幹部職員
 の公金不適切処理の事案を受け
 て、上牧町議会では、6月定例会
 最終日に全議員連名にて「再発防
 止を求める決議」を提出し、全会
 一致で承認されました。二度とこ
 のような事態が生じることの無い
 よう、具体的な再発防止策を直ち
 にとりまとめ、議会に報告するこ
 とを強く求めました。

平成28年5月 臨時会の議決結果

(平成28年5月12日)

議 案 名	議決結果	石丸 典子	竹之内 剛	遠山健太郎	牧浦 秀俊	辻 誠一	長岡 照美	富木つや子	服部 公英	堀内 英樹	康村 昌史	東 充洋	吉中 隆昭
専決処分報告について 上牧町税条例等の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
専決処分報告について 上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
上牧町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

平成28年6月 定例会の議決結果

(平成28年6月6日～6月15日)

議 案 名	議決結果	石丸 典子	竹之内 剛	遠山健太郎	牧浦 秀俊	辻 誠一	長岡 照美	富木つや子	服部 公英	堀内 英樹	康村 昌史	東 充洋	吉中 隆昭
平成27年度上牧町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 について	報 告	報告のため採決しない											
平成27年度上牧町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算 書の報告について	報 告	報告のため採決しない											
上牧町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を 定める条例の一部を改正する条例について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
上牧町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例に ついて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町一般会計補正予算（第1回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成28年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第1回） について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例 の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
町長の専決事項の追加指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見 直しに関する意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
再発防止を求める決議（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○賛成 ●反対 -除斥 ×棄権 空白は欠席

※ 議長は採決に加わりません

一般質問一覧

遠山健太郎	1. すむ・奈良・ほっかつ事業について 2. まちづくり基本条例による取り組み状況及び評価について	長岡 照美	1. 循環型社会の取り組みについて
堀内 英樹	1. 町財政の状況判断と今後の行財政運営について	富木つや子	1. 高齢者福祉について 2. 障がい者福祉について
辻 誠一	1. インフラ整備 2. 協働のまちづくり 3. 防災 4. 創生総合戦略	康村 昌史	1. 安全・安心なまちづくりについて
石丸 典子	1. 子どもの虐待防止と対応について 2. 町道と県道の交差点の交通安全対策について	竹之内 剛	1. 発達障がいの児童・生徒の支援について 2. 第3小学校のグラウンドの芝生の維持・管理について
服部 公英	1. 住環境整備について 2. 防災対策について	東 充洋	1. 交通安全対策について 2. 上牧町の人事について
牧浦 秀俊	1. 小中一貫校の上牧町での展開 2. 上牧町のスポーツ振興で全国大会出場者の扱いについて		



遠山 健太郎

すむ・奈良・ほっかつ事業について

—上牧町の将来像を見据えて、しっかりとした取組みを！—

問 北葛城郡4町（上牧町・王寺町・河合町・広陵町）で実施するプロジェクト、「すむ・奈良・ほっかつ事業」が、各町において予算措置がとられ、今年度より事業展開されています。この事業は、新たな地域ブランドの創出や、地域資源をつないだネットワーク形成の意味においても、とても有効な政策であるので大変期待をしています。この事業の具体的な内容と上牧町の役割について伺います。

答 北葛城郡4町が抱える共通の課題、空き家問題・人口減少問題・情報発信力の弱さ等を協働して問題解決を図っていくというプロジェクトであり、上牧町は事務局として中心的な役割を担っています。

問 このプロジェクトより見据える上牧町の将来像はどうイメージしていますか。

答 「すむ・奈良・ほっかつ事業」だけではなく、今策定している第5次上牧町総合計画をもとに、上牧町としては、子育て支援に軸足を置きながら『魅力のある安心安全のまちづくり』を目指していきたいと考えています。

今後の行財政運営は課題山積

— 町財政はまだ経過措置の段階 —



堀内 英樹

問 町財政はまた「経過観察」の段階であり、決して楽観出来ないが、どうか。

答 町の財政は少しずつ良くなってきているが、人口減少問題がある。特に税金を払って頂く生産年齢（15〜64歳）の人口が減少する結果、税収が増えて行かない。人口を増やして行く取り組みとして、子育て支援や高齢者対策をしっかりとやって行く必要がある。その財源をどのように捻出して行くのか、これから一番重要な課題になってくる。

問 まちづくり基本条例では「総合的かつ計画的に町政運営を図る」と規定している。計画を立てる過程で、肝心の財政が抜け落ちていないか。

答 過去に上牧町が財政破綻したのは、住民の要望があったら何でもやり、身の丈に合わない事業をやってきたからである。今後は出来ること、出来ないことをはっきりさせて行きたい。これからますます要望も出てくると予測され、出来ない場合にはその理由をしっかりと説明し、理解を得ながら行財政運営を行ってゆく。



辻 誠一

スタートする上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略

— 財政措置・マンパワーは大丈夫か？ —

問 人口ビジョン上牧町まち・ひと・しごと創生戦略が策定され、今年度より5年後の2020年を目途に具体的な政策が遂行される。

全体で65事業のうち、今年度は16で約3千400万円の予算で実行される。

今後多種多様に亘る事業の遂行に、予算措置もさることながら、職員のマンパワーは大丈夫か。

答 予算措置については、国の交付金の動向を見据えた財源措置のもと実施していきたい。マンパワーについても今後の進捗状況に感じ、検討しながら進めていきたいと考えている。

問 今年度の目玉は何かあるか？

答 平成28年度予算に計上した関連事業は以下のとおり。

- ・ マタニティ教室
- ・ 乳児・幼児健診
- ・ 新米ママへの訪問カウンセリング
- ・ 不妊治療助成
- ・ 不育症治療助成
- ・ 学校支援事業
- ・ 子育てにおけるコミュニティ形成
- ・ ICT利用教育
- ・ 英語教育充実
- ・ 体育教育充実
- ・ 学習支援授業
- ・ 様々な専門講座
- ・ 久渡古墳群文化財の保存・整備
- ・ 協働のまちづくり
- ・ 公募型補助事業
- ・ 防災訓練
- ・ 乳幼児教育の充実



石丸 典子

子どもの虐待防止と対応について

問 子どもの虐待を防ぐには、初めての出産による不安や貧困など様々な問題を抱えた家庭に対し、きめ細かな相談体制や訪問事業が大切である。

答 児童虐待実態調査では、低所得層に事例が多い。親の労働環境の改善も必要。

問 町での乳幼児健診の受診状況・訪問事業・虐待通報時の対応と相談体制はどうか。

答 乳幼児健診はほぼ90%を超えている。未受診者に対しては、家庭訪問や保育所などで全て確認している。今年度は、新米ママへの訪問力ウンセリングを重視している。

通報があった場合は、福祉課や教育委員会などで調査し、児童の安全確保を48時間以内に行う。高田こども家庭相談センターと連携し、支援や見守りを行っている。

また、要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）で適切な対応を取っている。

問 福祉課の担当職員は1名で兼務となっている。専門的な研修や保健師の増員を。

答 福祉課だけでなく、他の部署や県と連携しており、現体制で対応できている。



服部 公英

住環境整備について

— 下水道整備の促進を —

問 北上牧地区内の高池周辺の下水道整備について、服部台と北上牧に隣接する高池周辺の方からの要望で夏場になると水質が悪くなり異臭がするので、改善を希望する。話を聞いて、三月の一般質問でも対策について、自治会と協力して、池の水を少しずつ入れ替えるとの答弁でした。今回は下水道整備について、今後の予定を聞かせてください。

答 平成27年度で高池下の部分で延長60メートルの下水道工事を実施いたしました。今年度も、引き続き下流周辺の状況調査を行い下水道事業を進めます。高池上流、周辺地域についても、下水道整備を行うために調査等に着手していきたいと考えています。来年度、上牧町公共下水道事業の認可延伸に向けて調整を図り、住民の皆様が衛生的で快適な生活が送れますよう、事業の早期完成に努めます。

問 西名阪沿いの深い溝については、自治会では清掃が難しいが。

答 町で掃除をしていくように考えています。



牧浦 秀俊

小中一貫校を町はどう考える

問 平成28年4月から国の施策で小中一貫校が制度化されました。あれから1年小中一貫校の取組の成果がでてきている。(成果の大きなもの)

- ・ 中一ギャップが緩和された。
- ・ 下級生が上級生に憧れる気持ちが強まった。
- ・ 小中学校の教職員間で協力して指導する意識が高まった。

など、この結果をどう考えているのか。

答 成果は、確かに理解しているが、まだまだ課題もあるので実施には慎重を期していきたい。

問 王寺町や河合町でも小中一貫校の実施が表明されており、また奈良県内の直近で小中一貫校になった生駒北中が準備に10年かかった。

また、上牧小学校、上牧第二小学校の生徒がかなり減っていく傾向にある。統廃合も念頭に考えないと将来的に町政にも大きく影響を与えると思うのだが。

答 全く考えていないことでもない。今は学力向上の面では、ほかの施策で対応していこうと思っており、将来的には小中一貫校、又は統廃合もいつかは考えていかななくてはならない。



長岡 照美

食品ロス削減で循環型社会の取り組みを

— 家庭でも『もったいない』を合言葉に —

問 食べ残しなどで捨てられる食品は、日本で年間632万トン、その約半分が家庭からの破棄である。国民1人当たり、おにぎりにして1日1個から2個捨てている計算になる。

学校給食の食べ残しや調理かすの処理方法、再生利用について何う。

答 食べ残しは小学校ではほとんどないが中学校では多い時間で1割程度の食べ残しがあり、焼却をしている。ごみの減量や堆肥化について今後、教育委員会を考えていきたい。

問 上牧町社会福祉協議会が行なう「こどもの居場所づくり」の新規事業内容、フードバンクの利用について何う。

答 日々の生活に何らかの困難を抱えた小学生を支援する事業である。募集人数は10名程度・毎週土曜日、時間は9時から12時半・保健福祉センターで行う。昼食の食材など今後、住民さんへの寄付の呼びかけを行なう。お寺さんからのお菓子提供もある。フードバンクの利用も考えていく。



障がい者福祉について

— 誰もが支え合いともに安心して暮らしやすいまちに —



富木 つや子

問 今年4月に「障がい者差別解消法」が施行された。全ての人々が障がいのある人も、ない人も、分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し、共に暮らしやすいまちをつくるための決まりを定められた法律である。必要な配慮や環境整備など本町の取り組みは。

答 奈良県の条例においても、全ての人が対象に、「何人も障がいを理由とする差別をしてはならない」としている。本町では、職員や民生委員、各関係機関が障がいを理解し手助けや配慮の方法等を知るために、県が実施している、まほろば「あいサポート運

動」の研修を受けている。また、庁舎内での合理的配慮としては、エレベーターや多目的トイレの設置、車イス、障がい者や高齢者専用の「思いやり駐車場」等である。

問 障がい者差別に関する相談やトラブル防止の解決などのサポート体制は。

答 町内では、2名の身体障害者相談員が対応しており、重篤な場合は県の相談員が対応する。



上牧町の安心・安全なまちづくり

— 空地・空家等の雑草問題 —



康村 昌史

問 空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されたが、空地の雑草対策が抜けている点が問題。今年度1千万円の予算で空家等の実態調査を行いその条例を制定されると思うが、いつ頃できるのか。

答 所有者アンケート調査の結果を政策調整課に引き継ぐ。

問 現在、上牧町の空家等・空地の雑草問題に、どのような対応をしているのか。

答 土地の所有者の問題であり、町としては関与できないが、毎年6月、その所有者に電話又はハガキで草刈りを行う

よう連絡している。

問 町の草刈り指導に従わない所有者は、何人いるのか。

答 平成27年度で30数名である。

問 雑草問題でその周辺住民は、本当に迷惑している。街の景観を守ることも必要であるため、結局自治会のボランティアに頼らなければならない。少子・高齢化のため、自治会・子ども会の存続も難しくなってきた中で、これ以上の負担をかけるべきではない。今度制定される空家等対策の推進に関する条例は、全国に先駆けた斬新な条例にしてはどうか。

答 検討したい。

ペガサス教室（通級指導教室）

— 県内での先駆的な取り組みの更なる拡充を —



竹之内 剛

- 問** ペガサス教室に通っている児童生徒数は何人か。
- 答** 平成28年6月1日現在、上牧町21名、河合町3名、王寺町2名、広陵町9名、小学校就学前11名である。
- 問** 通級児童生徒の待機の有無について。
- 答** 申請のある児童生徒全てを受け入れており待機者はいない。
- 問** 教員数は、通級する児童生徒の人数の多い2、3学期でも、3名で問題ないか。また、教員は特別学級有資格者か。
- 答** 対応人数に問題はない。教員の内1名は、特別学級の有資格者。
- 問** 通級指導対象者に弱視者、難聴者を含まない理由は何か。
- 答** 難聴等は障がいの内容が違つたため。
- 問** 通級教室に通うために欠席となる授業の遅れ等への対応は。
- 答** 担任が個々に対応している。
- 問** 通級教室の教員のスキルアップ研修受講費用や指導回数や日数等、充実に向けた対応を検討しているか。
- 答** 指導者の受講費用の補助、保護者からの要望である教室の指導回数や日数等については、今後検討していく。



東 充洋

交通安全対策について

— 車から子どもと高齢者を守ろう —

- 問** はじめに、町立幼稚園、第二小学校への通園通学路の片岡台・桜ヶ丘に架かる『つくも橋』の防音壁四か所の一部を透明化にし、歩行者や往来車が確認できるように要望する。
- 答** 今年度『つくも橋』の耐震化工事計画があり、ネクスコ西日本に要望し、実現したい。
- 問** 次に、歩きにくい歩道の傾斜をなくしてほしいとの要望が多数寄せられている。県道・中筋出作川合線のJAからコンビニエンスストア交差点までの改修を求める。
- 答** 上牧小学校側の道路改良事業実施時に県に要望する。
- 問** 三つめは、県道王寺田原本線と町道桜ヶ丘新町線の三差路交差点が危険。横断歩道がなく、幼稚園の通園、アピタや文化センターへの行き帰りの歩行者は県道を横断、非常に危険である為、歩道や信号機の設定等の安全対策を求める。
- 答** 歩行者の安全が図れるよう検討する。



議会・インターネット中継

YouTubeで見やすく

上牧町議会のインターネット中継は、平成26年9月議会から開始してまいりました。今年3月議会から配信媒体をこれまでのUstreamからYouTubeに変更しました。実況に加えて録画保存が

進化し、たやすく視聴できるようになりました。

視聴する方法は二つ

- ①「上牧町ホームページ」トップページにアクセス→画面右側パネル「上牧町議会・インターネットライブ中継」→「ライブ中継（議会開会中）」または「過去のライブストリーム（議会閉会中）」→「番組選択」
- ②いずれかの「検索サイト」→「YouTube Japan公式チャンネル」→「上牧町議会」を検索↓以下①と同じ

YouTube画面より



撮影は、これまで役場ロビーへのモニター中継に使っていた固定のアナログカメラ二台を使用し、画面構成は上下二分割になっています。番組は休憩時間を含め午前・午後に分け、編成されています。

議会日誌

(4月)

- 1日 広報委員会
- 11日 「人権を確かめよう日」県内一斉集会
- 12日 広報委員会
- 23日 安堵町制30周年記念式典
- 25日 総合計画審議会(第2回)

(5月)

- 8日 三郷町制50周年記念式典
- 10日 議会運営委員会
- 12日 町シルバー人材センター理事会
- 12日 第3回臨時会
- 17日 議員懇談会
- 17日 北葛城郡町議会議長会総会
- 18日 町社会福祉協議会理事会
- 23日 町婦人団体連絡協議会総会及び研修会
- 25日 王寺周辺広域市町村圏議長会総会
- 27日 町シルバー人材センター定期総会
- 30日 北葛城郡人権教育推進協議会総会
- 30日 総合計画審議会(第3回)

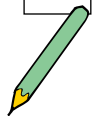
(6月)

- 2日 議会運営委員会
- 2日 議員懇談会
- 6日 第2回定例会(初日)
- 7日 総務建設委員会
- 8日 文教厚生委員会
- 13日 一般質問(6名)
- 14日 一般質問(5名)
- 15日 議員懇談会
- 15日 第2回定例会(最終日)
- 16日 広報委員会
- 16日 町社会福祉協議会理事会
- 27日 総合計画審議会(第4回)
- 30日 町人権教育推進協議会総会
- 30日 広報委員会

次回の定例会は 9月5日開催予定

- ・第3回上牧町議会定例会
平成28年9月5日(月)
午前10時から
- ・議会運営委員会
平成28年9月1日(木)
午前10時から

編集後記



▼議会の審議内容をわかりやすく伝えることをモットーに、7名で担当しています。限られた字数で表現することのむづかしさ、毎回学習しています。ご意見、お聞かせ下さい。

広報委員会

- 委員長 辻 誠一
- 副委員長 牧浦 秀俊
- 委員 石丸 典子
- 委員 竹之内 剛
- 委員 遠山健太郎
- 委員 長岡 照美
- 委員 堀内 英樹

☎0745-76-1001
☎0745-76-1003